

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 30. 3. 20 第 196 回国会第 3 号

3 月 20 日（火）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・齋藤農林水産大臣、磯崎農林水産副大臣、野中農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

大河原雅子君（立憲）

- ・農林水産省の種子に対する考え方は変わったのか。
- ・海外への新たな植物品種の流出をどのようにすれば防ぐことができるのか。
- ・農林水産省における再生可能エネルギーの開発状況、課題について伺いたい。

神谷裕君（立憲）

- ・米政策の転換の経緯について伺いたい。
- ・米国の T P P に対する動向について政府はどのように考えているのか。
- ・公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律（平成 24 年法律第 36 号）、建築基準法の一部を改正する法律（平成 26 年法律第 54 号）の施行後、木材利用の状況は変化したのか。

後藤祐一君（希望）

- ・ T P P 11 に米国が参加となった場合の乳製品の関税割当などの再交渉の可能性について伺いたい。
- ・農協改革における組織変更、信用事業の代理店化の判断が、農協・単協の判断によるもので良いのか伺いたい。
- ・主要農作物種子法（昭和 27 年法律第 131 号）の廃止による懸念について見解を伺いたい。

関健一郎君（希望）

- ・主要農作物種子法の廃止のリスクについて農林水産省はどのように考えているのか。
- ・農業競争力強化プログラム策定後、これまでの成果について伺いたい。

- ・農地をコンクリート張りにしても農地転用に当たらないこととなる対象施設について伺いたい。

大串博志君（希望）

- ・諫早湾干拓開門問題に係る福岡高等裁判所の和解勧告に対する漁業者からの回答について、農林水産省の今後の対応を伺いたい。
- ・有明海再生予算は諫早湾干拓開門問題とリンクしていないことを明確にしてもらいたい。

金子恵美君（無会）

- ・鳥獣被害防止対策において、 I C T 等を用いた新たな捕獲技術の開発・導入に対しどのような支援を行っているのか。
- ・鳥獣被害防止総合対策交付金に係る会計検査院の改善処置要求を受け、どのような対策を講じたのか。
- ・花きの振興に関する法律の制定を受け、どのような施策を講じているのか。

田村貴昭君（共産）

- ・飼料用米生産について将来にわたって安心して取り組めるような環境整備が必要ではないか。
- ・平成 29 年 7 月の九州北部豪雨の災害復旧に関し、農業者が営農意欲を失わないよう、早期に土砂の撤去を行うべきではないか。
- ・諫早湾干拓開門問題において開門によらない基金等の方策による和解協議では、漁業者の理解を得られないのではないか。

2 水産加工業施設改良資金融通臨時措置法の一部を改正する法律案（内閣提出第 15 号）

- ・齋藤農林水産大臣から提案理由の説明を聴取しました。